

# 四季報 人もトキも

「人とトキが共生できる地域環境づくりプロジェクト」 ニュースレター

Vol. 1

2011年4月発行



## はじめまして

「人とトキが共生できる地域環境づくりプロジェクト」が、2010年9月から始まりました。少し遅くなりましたが、第一号のニュースレターをお届けします。これから3ヶ月ごとに、プロジェクトの活動をお知らせしていきたいと思います。

野生動物の保護と地域住民の生活向上の両立を目指す仕事ですが、日中双方の関係者が協力して様々な活動に取り込んで行きたいと思っています。よろしくご支援お願いします。



## 森チーフアドバイザーからのご挨拶

絶滅のおそれのある鳥類と言えば、誰もがトキを思い浮かべると思います。今、世界でトキがいるのは中国、日本、韓国ですが、すべて中国陝西省洋県に生き残っていた7羽のトキから増えてきた個体です。

洋県でトキが再発見されたのは1981年、それから30年、営巣木の保護、餌場の水田の農薬や化学肥料の禁止、飼育下での繁殖などさまざまな保護対策が行われ、現在、陝西省の野生トキは約800羽まで増加しています。中国のトキ保護事業は、大きな成果を達成してきたのですが、同時に新たな課題に直面しています。

トキは水田や河川の湿地など私たちの身近に暮らしてきた鳥類です。トキの数が増え、生息範囲が拡大するほど、人の生活とトキの保護の矛盾も大きくなります。どうすれば、農民の生活向上、地域の発展と、トキとその生息環境の保全・改善を共に実現できるのか、これが、私たちのプロジェクトに与えられたテーマです。

プロジェクトサイトは、陝西省洋県の漢中朱鹮自然保護区と寧陝県、また、河南省の董寨自然保護区の3地区です。寧陝県と董寨自然保護区は新たにトキが導入された地区で、3つのサイトはトキ保護事業の発展段階も社会条件もそれぞれ異なっています。これから5年間、カウンターパートや地域の関係者とともに、この3つのサイトをフィールドに、自然環境や社会環境の情報整備、トキの野生復帰を行う体制整備、住民参加型のモデル事業、環境教育など幅広い分野の活動に取り組んでいく予定です。

人と野生動物の共存は世界共通の課題ですが、正解を教えてくれる方程式はありません。地域の現実から出発し、手探りで解決の道を探っていくしかありません。皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いします。

(チーフアドバイザー 森 康二郎)



カウンターパートとともに

(洋県の漢中朱鹮自然保護区管理局にて 右端森リーダー、左端蘇、中央米田専門家)

### カウンターパートプロジェクト事務局 陸主任からのご挨拶

トキは世界で最も絶滅の恐れの高い鳥類であり、かつてわが国、朝鮮半島、日本などに広く分布しましたが、農薬の使用や環境悪化などの原因で、わが国でも絶滅したと思われていました。しかし、1981年、陝西省洋県の山地で7羽のトキが発見され、国内外で大きな注目を引きつけました。以降、30年の努力により、野外のトキと人工飼育トキの数はどんどん増加し、さらに野生復帰のための放鳥も成功しました。今、トキの個体数は1981年の7羽から1600羽余りに増加し、絶滅の運命から抜け出すことができたので、世界中の絶滅危惧動物保護成功モデルになっています。

わが国の国家一級保護動物であるトキは私自身、大好きな鳥類です。そして、日本の歴史と文化の中で重要な意味があると認識しています。トキを救う活動を通じて、日中両国は長年の協力関係にあり、友好的な合作関係を構築してきました。今回、日中合作「人とトキが共生できる地域環境づくり」プロジェクトの開始は日中両国によるトキを救うための新たな重要な一步です。全国鳥類バンディングセンターは1999年以来、一貫して日中トキ保護事業の管理と実施を担当してきましたが、今回「人とトキが共生できる地域環境づくり」プロジェクトに参加し、トキの保護事業に貢献できることを光栄に思っています。プロジェクト関係者全員の協力と努力の下で、トキの保護事業がこれから必ず大きな成果を挙げることができると信じています。トキが日中両国の青空で永遠に飛ぶことを心から念願します。

(プロジェクト事務局 主任 陸 軍)



江西記念写真



雪宝山記念写真

## ○専門家・カウンターパートの紹介

本プロジェクトは JICA と中国国家林業局の合作事業です。プロジェクト全体の事務局は、中国のトキ保護事業を科学面からサポートしてきた北京の全国鳥類バンディングセンターに置かれ、我々日本人専門家もここに所属します。各サイトのカウンターパートは、自然保護区管理局や県林業局で、各省の林業庁や県政府もプロジェクト活動に協力・参加します。なお、西安市に専門家の駐在事務所を設置しています。

### プロジェクト事務局 (全国鳥類バンディングセンター)

#### カウンターパート

- 陸 軍 主任
- 劉冬平 博士

#### 派遣専門家

- |                |            |
|----------------|------------|
| ○チーフアドバイザー     | : 森 康二郎    |
| ○環境教育専門家／業務調整員 | : 平野 貴寛    |
| ○鳥類保護専門家       | : 米田 重玄    |
| ○参加型開発専門家      | : 雲山 蘇(短期) |

#### 中国側カウンターパート機関および協力機関

- 国家林業局国際合作司長及び野生動植物保護  
および自然保護区管理司
- 中国林業科学研究院鳥類バンディングセンター
- 陝西省林業庁
- 河南省林業庁
- 漢中トキ自然保護区管理局
- 陝西省寧陝県林業局
- 董寨自然保護区管理局
- 陝西省洋県人民政府
- 陝西省寧陝県人民政府
- 河南省羅山県人民政府

#### 日本人専門家チーム

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| ○チーフアドバイザー      | : 森康二郎  |
| ○専門家(環境教育／業務調整) | : 平野 貴寛 |
| ○専門家(鳥類保護)      | : 米田 重玄 |
| ○専門家(参加型開発)     | : 雲山 蘇  |
| ○秘書兼通訳          | : 索文娜   |
| ○トキ情報コーナー担当     | : 周霞    |

## ○活動内容・出来事

### 専門家着任・西安事務所開設

2010年9月25日、森、米田、長期専門家、蘇、短期専門家が着任し、プロジェクト活動を開始しました。

2011年1月中旬には、プロジェクト西安事務所が開設、活動基盤が整いました。

### プロジェクトサイトの現状調査

2010年10月から11月まで、中国側関係者と共に3ヶ所(陝西省洋県の漢中朱鹮自然保護区、寧陝県、河南省董寨自然保護区)のプロジェクトサイトを現地調査し、トキや自然環境の現状、地域の現状等を把握しました。また、各サイト関係者からプロジェクトへの期待、要望、実施体制等をヒアリングし、活動計画の具体的な検討を開始しました。



バンディングステーションでの聴き取り調査  
(董寨自然保護区)



洋県市街地付近でトキを観察

## プロジェクト開幕式、国際ワークショップの実施

プロジェクトの最初のイベントとして、プロジェクト開幕式が2010年12月23日、西安市にて開催され、国家林業局、陝西省・河南省林業庁、各プロジェクトサイト関係者、日本大使館、JICA 中華人民共和国事務所、日本環境省他約50名が参加しました。

また、開幕式に先立ち、20日には日中の専門家が参加する「トキ保護の現状と対策ワークショップ」が、21日には洋県トキ生息地の現地参観が実施され、一連の行事は両国の多くのメディアによって報道されました。



開幕式の写真



開幕式とワークショップの  
内容を報告書にまとめました。

マスコミ報道 (日本側、読売、共同配信 8 社、中国側新華網他 15 社)

2010 年 12 月 23 日の開幕式について

(中国政府)

[http://www.gov.cn/jrzq/2010-12/23/content\\_1771598.htm](http://www.gov.cn/jrzq/2010-12/23/content_1771598.htm)  
[http://news.cnwest.com/content/2010-12/23/content\\_3928580.htm](http://news.cnwest.com/content/2010-12/23/content_3928580.htm)

(共同 )

<http://sankei.jp.msn.com/world/china/101223/chn1012231644002-n1.htm>  
<http://www.47news.jp/CN/201012/CN2010122201000199.htm>  
<http://www.47news.jp/CN/201012/CN2010122301000387.htm>  
<http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2010122301000387.html>  
[http://newssearchina.net/disp.cgi?y=2010&d=1223&f=national\\_1223\\_132.shtml](http://newssearchina.net/disp.cgi?y=2010&d=1223&f=national_1223_132.shtml)  
<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/217246>  
<http://www.iza.ne.jp/news/newsarticle/world/china/477538/>  
<http://town.sanpo.oni.co.jp/news/k/d/2010122301000387>  
<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-171461-storytopic-1.html>

20 日のワークショップについて

[http://newsifeng.com/mainland/detail\\_201012/21/3628628\\_0.shtml](http://newsifeng.com/mainland/detail_201012/21/3628628_0.shtml)

(新華社 )

[http://newsifeng.com/society/news/detail\\_201012/23/3661894\\_0.shtml](http://newsifeng.com/society/news/detail_201012/23/3661894_0.shtml)  
[http://news163.com/10/1223/15/60\\_KS8B500014\\_B5.html](http://news163.com/10/1223/15/60_KS8B500014_B5.html)  
<http://www.shradio.com.cn/news/system/2010/12/23/001171351.shtml>

(中国日報 )

[http://news163.com/10/1221/23/60FBM60H00014\\_B5.htm](http://news163.com/10/1221/23/60FBM60H00014_B5.htm)

<新華社 >

[http://www.sina.xinhuanet.com/2010-12/23/content\\_21697210.htm](http://www.sina.xinhuanet.com/2010-12/23/content_21697210.htm)  
[http://www.sina.xinhuanet.com/2010-12/23/content\\_21702907.htm](http://www.sina.xinhuanet.com/2010-12/23/content_21702907.htm)  
[http://newsifeng.com/society/news/detail\\_201012/23/3660507\\_0.shtml](http://newsifeng.com/society/news/detail_201012/23/3660507_0.shtml)  
[http://www.jmnews.com.cn/c/2010/12/23/13/c\\_6295250.shtml](http://www.jmnews.com.cn/c/2010/12/23/13/c_6295250.shtml)  
[http://www.shradio.com.cn/news/system/2010/12/23/00117081\\_0.shtml](http://www.shradio.com.cn/news/system/2010/12/23/00117081_0.shtml)  
<http://news163.com/10/1223/13/60JFJC7L00014JB6.html>  
<http://www.cnstock.com/index/gdbb/201012/1064404.htm>  
[http://www.jmnews.com.cn/c/2010/12/23/13/c\\_6295250.shtml](http://www.jmnews.com.cn/c/2010/12/23/13/c_6295250.shtml)



読売新聞 12 月 24 日

## トキに関する日中協力事業が開始



<http://www.47news.jp/CN/201012/CN2010122201000199.htm>  
<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-171461-storytopic-1.html>

## 新潟大学 池田教授当プロジェクト表敬訪問

トキに関する古代文献調査を実施している新潟大学池田教授がプロジェクト西安事務所を訪問されました。池田先生が洋県にて実施した調査の説明を受けるとともに、当方のプロジェクト活動の状況について紹介する等の交流をおこないました。

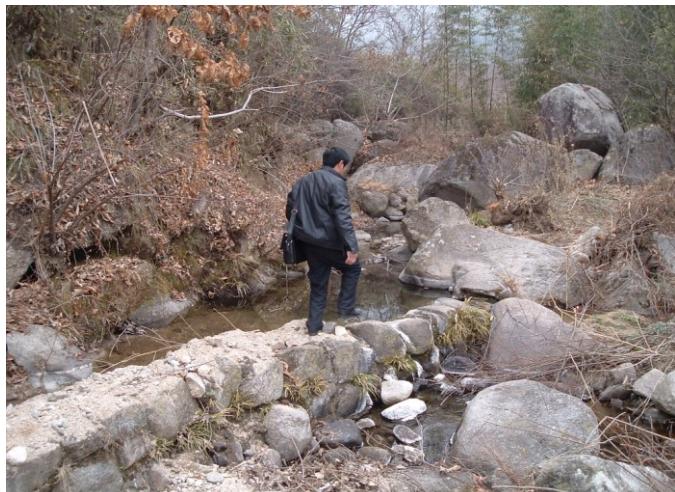
## プロジェクト定例会議の開始

2011年1月に第1回の定例会議を西安で開催、中国側からは北京の鳥類バンディングセンター、陝西省及び河南省の林業庁のC/Pが、日本側からは専門家チームが参加しました。

定例会では、これまでの活動状況を点検するとともに、今後の活動内容について協議しました。また、十分な意思疎通を図るため、今後毎月1回程度を目処に開催していくことで双方合意しました。

## 住民参加型モデル事業懇談会の開催(洋県・寧陝県)

2011年の1月から3月にかけて、各サイトで自然保護区、県政府の幹部や担当者、また、地元村民との懇談会を連続的に開催し、有機農業やエコツーリズムの現状等をヒアリングするとともに、モデル事業の要望や可能性について意見交換しました。洋県では、有機梨栽培、ドジョウ養殖等、寧陝県では、有機板栗栽培、水路の復旧による棚田の回復等、董寨保護区では有機茶栽培などが検討対象として浮かび上がってきました。



寧陝県寨沟村での用水路調査



寧陝県林業局や地元村民との有機農業懇談会

## クリ有機栽培技術研修の実施

2011年3月9日と10日の両日、寧陝県寨沟村にて板栗の栽培技術研修を実施しました。寨沟村にはトキ野生復帰基地があり、放鳥されたトキが定着しています。板栗は村の主な産物の一つですが、これまで半野生の粗放な栽培でした。研修では安康市林業技術普及ステーション陳育朝所長の指導により、高品質品種の接ぎ木や剪定方法を実習し、また、栽培管理手法の講義も実施されました。実習には60人を超える村民が参加し、熱心に技術の習得に取り組みました。成果の活用により、住民の生計向上が期待されます。

\*板栗 中国在来の栗。中国北部に分布。日本にも天津甘栗として輸出されている。